教育旅行レポート

〝非日常の場〟に身を置き

神奈川県立吉田島高等学校

道東3泊4日
18年10月2～5日実施

坂田千洋副校長

小野　裕士教諭

神奈川県立吉田島高等学校（神奈川県開成町、中戸川啓二校長）は総合学科（5学級）と農業科（6学級）を持つ。農、食、環境、健康に関する知識と技術を学び、地域に貢献する産業人材の育成を目指している。

今年4月には、県立高で初めて、家庭科に関する専門科目を中心に学ぶ

めったにできない体験 ファームステイで感激

標津町での入村式。歓迎に感激

釧路和商市場では自分で具材を選んで作った勝手丼をパクリ

貴重なカヌー体験

「生活科学科」が設けられ、作物や野菜、果樹、草花などの農業科の成果物を活用して、調理や子どもの表現活動を学ぶ場がスタートする。

総生徒数（昨年5月1日現在）は421人で、うち女子が250人と男子を上回る。修学旅行は毎年9月、2年次生を対象に実施。旅行先は北海道で、昨年は9月12～15日、道東の釧路、阿寒、中標津、知床への訪問を予定していた。が、思わぬ事態に。

「9月に起こった胆振東部地震の影響で実施が難しくなった。延期、中止を含め、どう対応するのか、大変だった」と団長の坂田千洋副校長は振り返る。各方面と調整し、10月2～5日に変更実施を決め、3クラス102人（うち女子61人）の生徒と6人の教職員が参加した。

海の投げ釣りで大物ゲット

吉田島高の学びに関連した生産現場（農作物、海産物などの生産、市場、加工）、および道東ならではの自然環境学習に関する見学と体験がテーマで、具体的には阿寒湖や標津町での体験、HACCP（食品の安全を確保する管理手法）と北方領土の講話、ファームステイなどだ。

3日午前の「阿寒湖周辺コース別体験」では、トレッキングやカヌー、乗馬体験、午後の「標津町感動体験」では、イクラと新巻鮭作り、生キャラメル体験、カヌーによる湿原散策、渓流釣りなどを行った。イクラと新巻鮭作りは標津で獲れた新鮮な鮭をさばいて作るもので、貴重な体験となったことは間違いない。

「コースは生徒自身が選ぶ。普段体験することがないので、いい経験になると思う」と小野裕士教諭はいう。

ファームステイも生徒の希望。17人が手を挙げ、標津町の酪農家に泊まり、搾乳など日ごろの仕事を体験した。「農家でいろいろなことを学びたいという意欲的な生徒が手を挙げる。お世話になった方との別れの際、涙を流す生徒もいた」と小野教諭。

このほか、阿寒湖アイヌコタン、サーモン科学館、野付半島、オシンコシンの滝、知床五湖などを見学。

宿泊施設は1泊目がニュー阿寒ホテル、2日目は男女に分かれ、ホテル楠、ホテル川畑、ファームステイ、3日目はホテル知床だった。

旅行費用は1人あたり約10万円。「やや高いかなという感じはしないでもないが、それに見合う内容にする責任が学校側にある」と坂田副校長は

ジンギスカンに舌鼓

阿寒湖アイヌコタンで

年、実績を中心に4社ほど見積もりを取り、企画内容によって選定する。「トラブル時の対応もしっかりしており、安心して任せることができ、事故なく、安全に終えるのが当たり前というのが大前提。その上で旅行会社とは十分に話し合い、意思疎通を図っている」（坂田副校長）。

気を引き締める。

旅行会社については例

「修学旅行に行く前と後では生徒と教師の距離感が近くなる。学校の生活の中では互いに見えない部分が（旅行先で）見えてくる場合もある。生徒の意識変革という意味で修学旅行は欠かせない行事だ」と坂田副校長と小野教諭は口をそろえる。

奈良県立平城高等学校

福島・東京3泊4日
18年12月6～9日実施

いわき沿岸部でガイドの案内に耳を傾けた

原発事故、震災の地で人の強さ肌で感じる

京都府に隣接する、平城山の丘陵地に広がる平城ニュータウン。古都・奈良の中心部から少し離れたこの住宅地に広々として緑豊かな校地を持つのが、奈良県立平城高等学校（今西一盛校長）だ。同校は日本で初めて、県の教育を担う人材の育成を目的とした「教育コース」を設置。地元の小学校や奈良教育大学などとも連携して、カリキュラムを組んだり、地域活動を行ったりしている。

2年生の修学旅行は、昨年度から福島県で実施している。目的は「震災学習」だ。それまで10年間は山陰・山陽、瀬戸内、四国地方で民泊や体験学習などを行ってきたが、定期的な見直しの時期になり、方面や内容を大幅に変更した。「実際に被災地に立ち、被災者の話を聞くことで、自然の前

赤べこの絵付けを体験

での人の無力さと復興に向けて立ち上がる強さを実感してほしかった」とや、石巻出身の奈良教育学名誉教授を招いての放射能についての講演会面を訪れて赤べこの絵付け体験を行ったり、いわきで沿岸部ガイドの話を聞いたり、「コミュタン福島」（福島県環境創造センター交流棟）で放射線や福島の環境回復について体験しながら学習するなど、福島の文化や環境について学んだ。併せて学年を二つに分けて、震災で被害を受けた「環境水族館　アクアマリンふくしま」で震災講話を聞いた。

コミュタン福島で原発について学ぶ

話すのは、学年主任の吉田敦教諭。これからの日本で生活していく上では自然災害と原発の問題は避けて通れないとの考えもあり、福島方面への旅行を決めた。

東日本大震災発生時、生徒たちはまだ小学生。事前学習では現地での震災学習を円滑かつ深く行うために震災の概要を説明したプリントを使い基礎的な知識を補完した。さらに渡邉正己・京都大大の大学院生による被災体験講話も実施した。大学院生の講話は、避難生活や友人の死、現地ボランティア体験などの内容で、「同じ高校2年生での被災体験の話だったため、生徒たちの心にわがことのように響いたようだ」と吉田教諭。

福島・東京方面への修学旅行は18年12月6～9日の3泊4日で実施。1～3日目は福島県内で、クラスごとに会津若松方面と首都・東京の実態を対比して、自分なりに社会のありようについて感じ、考えてほしいとの狙いもあり、都内各所での班別自由研修を行った。

どの研修も生徒の満足度は高かったが、中でも、震災で被害を受けたアクアマリンふくしまでの震災講話は生徒に強い印象を与えた。1時間ほどの講話では、震災当日の様子や津波による電源喪失で生物の飼育が困難になっていく状況、営業再開までの過程や職員の思いなどを聴講した。吉田教諭は「特に、人間以外の生物の被災という点が印象的だったし、『福島に来られた皆さんが実際に見て感じて今の福島を判断してください』というまとめの言葉に、皆、考えさせられたようだ」と振り返る。

最終日の4日目は、被災地・福島の被害の実態と首都・東京の実態を対比して、自分なりに社会のありようについて感じ、考えてほしいとの狙いもあり、都内各所での班別自由研修を行った。

吉田教諭によると「決められたことにはしっかり取り組むが、受け身の姿勢が多く、問題に直面した時の解決力は十分とは言えない」という生徒たち。東北方面への修学旅行についても実施前の関心は低かった。だが、事後アンケートを見ると、生徒たちの反応は吉田教諭が期待していた以上のものだった。「大切に育てていたたくさんの魚との別れなど、どんなに苦しいことがあっても、人は前を向いて生きていけるのだと感動した」「傷ついたり苦しかったりしても、前を向いて進んでいる福島の人の姿に触れ、ちっぽけなことに悩んでいる自分の小ささを感じた」「当たり前と思っていた日常は当たり前ではないのだと分かった。一日一日を大切に過ごしたい」など、福島やそこに住む人の様子や言葉から一人一人が自分の生き方、考え方を省みたようだ。

福島と東京の対比については、「指導することで生徒の『考える力』を削いでしまう」（吉田教諭）との考えから、事前、事後指導ともに具体的な指導は行っていないという。

関西から東北方面への修学旅行は移動距離が長いため費用面、時間面がネックとなり敬遠されが解消に努めたという。

震災から8年が経過したとはいえ、福島は今も、震災学習の学びの場である。同校では、19年度も福島を中心とした東北方面への修学旅行を実施する予定だ。

被災から復興したアクアマリンふくしまで

配だ」「将来もし影響が出たら誰が責任を取るのか」などの意見や問い合わせが複数あったという。そこで同校では、現地での学習が有意義であることや安全を確保できる態勢を整えていることを説明。さらに希望する保護者には事前学習の放射能に関する講演会に参加してもらい、不安点の

スマホ・PCでも読める！観光経済新聞

観光経済ドットコム　kankokeizai.com

観光業・旅行業・宿泊業に関連した最新ニュースを
11のカテゴリー※に分類して、1日平均約20の記事配信をしています。

※観光行政/トラベル/旅館・ホテル/ビジネス/地域観光/
インバウンド/商品・トレンド/インタビュー/コラム/注目トピックス/耳より情報　の11区分

電子版アプリ　540円/月
ニュースメディアスタンド
毎週発行の最新号に加えて、2010年1月1日号以降のバックナンバー・過去記事を全てお読みいただくことができます！

メルマガ　1日1回配信（AM7時）
前日7時～当日6:59までに観光経済ドットコム（kankokeizai.com）で配信された最新のニュースをヘッドライン形式でお届けします！

Facebook
観光経済ドットコム（kankokeizai.com）で配信された最新のニュースをウェブでの配信と同時に投稿しています！

Twitter
観光経済ドットコム（kankokeizai.com）で配信された最新のニュースをウェブでの配信と同時に投稿しています！

Instagram
取材先での写真など、全国各地の旬な情報をお届けしています！

Youtube
観光・旅行業界のトレンドや旅館・ホテルの最新情報をお届けします！
ご当地キャラや各地のミス○○のPR動画などをアップしています！

登録・フォロー　お待ちしています！